議　　題

防災関係部課長会議

１　原子力災害対策計画の策定について（小牧市提出）

【要旨】

愛知県は本年６月に愛知県地域防災計画（原子力災害対策計画）を策定する予定であり、県内市町村において同計画を策定するかどうかは任意とされています。

愛知県は、静岡県の浜岡原発から愛知県境まで約５５ｋｍ、福井県の敦賀原発から愛知県境まで約８０ｋｍ離れているため予防的防護措置を準備する区域（ＰＡＺ）や緊急時防護措置を準備する区域（ＵＰＺ）に位置していないこと、さらには愛知県内における原発事故による被害想定を正確に把握することが困難であることから、本市において原子力災害対策計画を策定する根拠が見出せない状況です。

原子力災害対策計画の策定について県内他市町村の動向をお伺いできたらと思います。

２　防災・減災への更なる取組みについて（半田市提出）

【要旨】

愛知県による新たな(そして甚大な)被害想定が公表されるなか、防災・減災対策の整備には、市町単位では太刀打ちできない状況にもある。ある種の広域的な取り組みが必要と漠然とは考えられるが、具体的な施策として何があり、どう進めて行ったらよいのか思い及ばない。

拡大の一途をたどる被害想定や住民要望に、公助の限界も感じているなか、減災対策の次なる一手や地域における取組の参考事例などご教授いただきたい。

例）　・幹線道路の通行規制と物流の確保　　・帰宅困難者対策
　　・上水道の連絡管整備と運用　　・広域拠点施設の整備
　　・災害時支援協定の包括化

３　その他